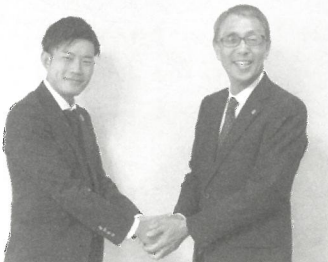


SUGISEKI
PRESENTS

みらい通信

(株)スギセキは、
建設会社の環境への
取り組みを応援します。Talk Room
003号室インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

「職人不足が深刻である」この言葉がとても響きました。日頃からメディア等で人手不足であるとは聞きしますが、実際に業界を先導する平井社長の言葉は私自身を当事者に引き戻す重みがありました。しかし、それを環境や時代のせい(に)せず、新技術導入による効率化や、これから若い世代が働きやすい目指しやすい職場作りの方へとベクトルを向けていることに感銘を受けました。最後に平井社長がおっしゃった「仕事を楽しくやる」職人不足からの打開、そしてこれからの時代へと一連の行動全てが凝縮された言葉に感じました。



環境問題は業界にも不可避なテーマ

平井工業(株) 代表取締役社長 平井敏晃氏

愛宕 創業100周年おめでとうございませす。100年の重みはいかがですか。

平井 1923年、平井新作が創業して私が4代目の代表になります。過去からの先輩方の思いをしっかり引き継いでいきたいと思っています。

愛宕 SDGsや環境活動、社会貢献への取り組みを教えてください。

平井 ISOの認証取得に始まり、静岡市のSDGs宣言企業やCSRパートナー企業への登録など、お客様や地域の皆様への責任という観点からいち早く取り組んできました。

愛宕 女性が働きやすい環境整備に注力されていますね。

平井 従業員の育児や産休などに上司、会社が理解を持つ職場環境を目指す「イクボス」を宣言、現場は女性専用の更衣室やトイレも整えています。現在、建築部・設計部・土木部で多くの女性が技術者として活躍してくれていますが、女性がいることで現場の雰囲気は明るく和やかで、整頓も行き届いた現場となっています。

愛宕 環境保全活動や特別学校の支援

活動など、地域貢献にも積極的です。

平井 子供たちに自然環境の大切さを知ってほしいとの思いから「遊水地のいきものを探そう」というイベントを行ってまいりました。特別学校などへの支援はこれからも粛々と継続していきたいと思っています。

愛宕 現場でも環境面に配慮した新技術や新工法を使用されていると聞きます。

平井 新しい技術や工法には積極的にチャレンジします。スギセキさんのGTL燃料の導入も取り組みの一例です。

建設業は基幹産業で、たくさんのサプライヤーがあり影響力が大きい。生産性向上や脱炭素化に向けた、社員、特に現場トップへの意識付けは徹底しています。工事前の施工検討会では、生産性や環境面から技術、工法、資機材などについて皆で検討、最善を模索しています。

愛宕 環境先進企業として業界にメッセージをいただけますか。

平井 「職人さん」の不足が深刻です。若い人の入職を促すには待遇改善、働き方改革が大切。そのため生産性の向上を図



らねばなりません。また、若い世代は環境対策など、企業の社会的責任への対応には敏感です。もちろん、環境問題は業界にとっても不可避なテーマです。

スギセキさんは、「建通新聞」を通じてわが業界の環境への取り組みを後押しして下さっています。取り扱われているGTL燃料の環境性能と共に、大変すばらしく、感謝を申し上げたいと思います。



女性の存在で現場は明るく和やかに

Talk Room
004号室インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

重機を壊れるまで使い続けるよりも、新しい重機に替えた方が燃費向上と環境への配慮がより高次元で行えるという話がとても印象に残りました。壊れるまで使うという固定概念のあった私にとっては衝撃的かつ目から鱗の面白い話でした。加えて、県内でいち早く環境に配慮し、GTL燃料を導入した実績からも岡村社長の決断力を感じました。また、環境だけでなく、重機資格獲得の支援や地元祭りへの協力など社会貢献にも尽力されており、「トップの意識が高くないといけない」という言葉・姿勢、そこに起因する決断力と実行力に感嘆しました。



異業種へのアンテナを高く

(有)オカムラ運輸 代表取締役社長 岡村肇之氏

愛宕 GTL燃料を積極的に導入していただいている理由を教えてください。

岡村 10トンの建設機械はすべてGTL燃料に切り替えました。新車を購入する場合もすべてGTL燃料です。軽油に比べ燃焼時に8.5%もCO₂を削減でき、NOxもPMも出ない。ならば環境に優しい方がいいと考えるのは当然です。

現在、三保海岸での仕事を請け負っていますが、万一燃料がこぼれても生分解性が高く、海への影響も少ないので元請けさんからは大変好評です。同現場だけで大型が7台、他現場も合わせると1日10台は稼働していますから、10台分の燃料は日量1000ℓとなり、環境への影響は決して小さくありません。

最近では、全国区の建設会社さんからは、「GTL燃料を」と燃料指定されるケースも増えてきました。

愛宕 建設機械、車両の導入でも、環境に配慮されているそうですね。

岡村 かつては大切に長く使い、目安の



土質改良土の製造

年数で買い替えていたましたが、今は前倒しで入れ替えました。排ガス基準も厳しくなってきましたが、それに追われるのではなく、自主的に環境に優しい建設機械、車両へとどんどん交換しています。

愛宕 社会貢献活動にも積極的です。

岡村 社員も含めた活動は事務所周囲の道路清掃くらいです。個人ではPTA会長を務めているくらいです。ただ、積極的に地域に貢献していきたい思いはありますので、社としては清水みなと祭り実行委員会、商工会議所、青年会議所、ロータリークラブなどへの協賛、また、自衛官の再就職や協力雇用主などの就労支援も行っています。

ただ、環境や地域社会への貢献は、企業として当たり前と考えていくべきことであり、特別なことではありません。

愛宕 若手の入職者や女性入職者を手厚くサポートをされています。

岡村 協会のオカムラ運輸共栄会(石井康祐会長)と共に、重機や無線の資格取得や、キャリアアップシステムの代行などのサポートなど、入職してきた人の育成に取り組んでいます。

愛宕 環境や地域貢献の取り組みが業界内で普及していくには。

岡村 当社は工事で発生した土砂を再利用し土質改良土を製造していますが、まずは社業も含め、環境や地域貢献を意識して現状を見つめることです。自然体で、できることからよいと思います。ただし、トップの意識は大切です。常にアンテナ高く情報収集すること。業界内だけでなく異業種との交流によって、他業界からヒントを得る柔軟さが重要です。

NETIS 登録技術
GTL燃料
燃焼時 CO₂ 8.5%削減☎ 0120-217-517
株式会社 スギセキ